

<四情懇の活動紹介>

令和元年5月～令和2年3月の活動ピックアップ!

このコーナーでは、令和元年5月から令和2年3月までの活動から、主なものをピックアップしてご紹介します。

1. 第35回総会記念講演会

【開催日】令和元年5月20日（月）

【開催地】松山市（ANAクラウンプラザホテル松山）

【参加者】総会92名（会員のみ）、記念講演会120名（非会員含む）

本講演会は、講師に東京大学大学院情報学環・副学環長・教授 越塚 登 氏をお招きし「Society 5.0の実現にむけて」と題し、IoTやAIを活用した地方経済活性化と地域課題の解決への方策をご紹介いただきました。

講演の要旨は次のとおりです。

【イントロダクション】

「破局的少子化」、「静かなる有事」とも表現され、一層進捗する高齢化社会及びこれから加速していくことが見込まれる人口減少社会への対策として、IoTやAIの活用が地域課題の解決に不可欠。

【IoTやAIの活用による課題解決】

データ駆動型農業として、インターネットによりセンサーデータ、品質データ、出荷データ等を収集し、従来は人間の長年の経験等で成立していた農業分野においてさらなる省力化を図る。

漁業や林業分野におけるIoT活用のための基盤として、既存の携帯電話事業者が展開しているサービスエリアのみでは十分なデータ取得が困難となっているため、不感地域においてはLPWA機器等を利用してデータ収集し産業効率化をめざす。



越塚 講師

物流分野では大きなコスト問題となってきた再配送への対策として、スマートメータからデータを取得し、AI 活用により家庭の在不在の確率を分析することで配送成功率の向上が見込まれる。

【地域課題解決のためのビジネスモデル】

大手の IT ベンダーが求めるビジネスモデルは数億円の多年契約である一方、地方の課題解決に必要なビジネスモデルは数百万円程度の案件が多数存在しており、地域課題解決型 IoT モデルとして地域発の全国展開（地域スタートアッププロセス）が求められている。



【Society 5.0の実現にむけて】

日本の未来にむけて、集約型農林水産業による食物生産・集約型製造業による工業製品生産・インターネット+クラウドによるサービス産業の集約効率化により経済成長を図り、併せて結婚・出産を望む人がそれを叶えられる社会を実現するため子育て・教育・福祉分野での一体的な家族支援ができる環境づくりを推進することで、持続性のある日本社会（Society 5.0）につなげていくことが必要。参加者からのアンケートでは「地方ビジネスモデルのヒントを得た」「少子化対策に IoT や AI の有効性が理解できた」「対面コスト削減のために AI 活用したい」などの声が寄せられました。

2. 管外視察研修会

【開催日】 令和元年 11 月 21 日～22 日

【開催地】 東京都

【参加者】 10 名

訪問先①

【ドコモ5G オープンラボ Yotsuya】

株式会社 NTT ドコモが平成30年4月に全国で初めて開設したパートナー企業・団体向けの5G 検証施設です。平成30年9月には大阪市、平成31年1月には那覇市に開設するなど順次全国主要都市に展開されています。

概要

「ドコモ5G オープンラボ Yotsuya」は、ドコモ5Gオープンパートナープログラムに参画している企業・団体（2,000超の団体）が、5Gの実験基地局・移動局装置などを無償で利用できる検証用環境を提供しており、今回は各装置のデモンストレーション説明を受けるとともに、VR デザインシステム等の操作を体験しました。

訪問先②

【Docomo Future Station】

平成30年8月22日に NTT ドコモ株式会社が設置した5G 展示施設です。「5G vision」、「5G overview」、「5G experience」、「5G with partners」、「5G challenges」の5つの区画に分けられており、5G ラボのような検証施設ではなく、技術的応用例やコンテンツへの活用例を発信するためのパビリオンとしての役割を担っています。

概要

4K5G 伝送システムを活用した映像デモンストレーション、及びテレビ局や建設機器製造会社、健康機器製造会社等と連携した5G 活用サービスを体験しました。

訪問先③

【NHK 放送技術研究所】

放送技術全般にわたる研究所(1930年設立、職員数254名)として、総務省予算による研究開発も行っています。

概要

10ある部局のうち、研究企画部・伝送システム研究部・テレビ方式研究部・スマートプロダクション研究部から、8Kコンテンツや次世代地上放送システム、移動中継用FPU(4K・8K)の開発、テレビ視聴ロボットについて説明を受けました。

3. 第23回ICT技術セミナー

【開催日】 令和元年8月8日(木)
【開催地】 高松市(高松センタービル)
【参加者】 62名

本技術セミナーは、「スマートな生活・ものづくり実現のための技術セミナー@高松」
《Society5.0の実現に欠かせない最新の技術動向を紹介》と題して、IoT、ビッグデータ、AIといった、Society5.0の実現に欠かせない最新の技術動向等を紹介しました。

最初に、三菱総合研究所（デジタルイノベーション本部 テクノロジー戦略グループ グループリーダー）谷田部 智之 氏から「AI、ビッグデータ処理技術の導入事例について」講演がありました。続いて、パナソニック株式会社 アプライアンス社（技術本部 DX 戦略室 サービス戦略課 課長）小川 智輝 氏から「IoT 家電の変革と近未来の暮らし」、同パナソニック株式会社 アプライアンス社（技術本部 DX 戦略室 暮らし NW・無線アーキ総括担当）高井 均 氏から「IoT 家電の進化を支える無線ネットワークの実現に向けて」について講演をいただいた後、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）（知能科学融合研究開発推進センター 連携研究室長）岩 爪 道昭 氏から「NICTにおける AI 研究開発とデータマネジメント ～ 賢い AI のためのデータ作り ～」を、同 NICT（ワイヤレスシステム研究室 主任研究員）板谷 聡子 氏から「Flexible Factory Project ～ 製造現場における安定した無線通信を目指して ～」を、それぞれご講演いただきました。



技術セミナーの様

その後、講師の方々と意見交換等を行い、IoT、ビッグデータ、AI といった ICT 利活用の動向について理解を深めるとともに、新たな課題解決方法等について考えました。

4. 24回 ICT 技術セミナー

【開催日】令和元年12月2日（月）
【開催地】徳島市（とくぎんトモニプラザ）
【参加者】68名

本技術セミナーは、「Society5.0 に関する技術セミナー@徳島」《四国における取組と Society5.0 を支える多様なネットワーク技術を紹介》と題して、四国における先進的な取組や Society5.0 の基盤を支える多様なネットワーク技術の最新動向等を紹介しました。

はじめに、徳島大学大学院（社会産業理工学研究部 理工学域 電気電子系 電気エネルギー分野 教授）安野 卓 氏から「精密・スマート農業を支える ICT ～ サイバー・フィジカル空間の融合に向けて ～」について講



技術セミナーの様

演をいただきました。続いて、奈良先端科学技術大学院大学（先端科学技術研究科 情報科学領域 サイバーレジリエンス構成学研究室 助教）榎原 茂 氏から「どろめプロジェクト ～ 消防防災活動 × 無人航空機の社会実装への道のり ～」について、株式会社かもめや（代表取締役社長）小野 正人 氏から「瀬戸内の空から離島の生活に革命を。～ ドローン目視外運用における電波利活用について ～」を、国立研究開発法人情報通信研究機構（ワイヤレスネットワーク総合研究センター 研究マネージャー）滝沢 賢一 氏から「低遅延と多数接続を実現する無線アクセス技術 ～ フィールド実証と 5G に向けた取組 ～」をご講演いただきました。

その後、講師の方々と意見交換等を行い、四国における取組と Society5.0 を支える多様なネットワーク技術について理解を深めるとともに、新たな課題解決方法等について考えました。

5. 令和元年度 ICT 技術勉強会

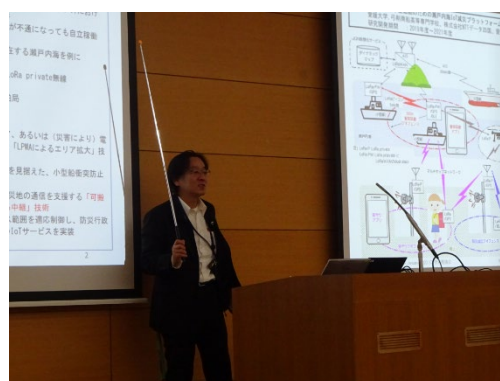
【開催日】令和 2 年 1 月 29 日（水）

【開催地】松山市（愛媛大学総合情報メディアセンター 1 階 メディアホール）

【参加者】34 名

本 ICT 技術勉強会は、「しまなみにおける ICT 利活用について」《島しょ部地域での ICT 利活用方策について考える》と題してセミナー形式で開催し、島しょ部地域における ICT 利活用方策について考える機会として、船舶の安全航行に重要な無線通信技術の動向や、しまなみにおける ICT 利活用事例のひとつとして、現在検討されている IoT を活用した島しょ部における減災プラットフォームの構想等について紹介しました。

はじめに、第 1 部「船舶の安全航行等に重要な無線通信技術の最新動向」として、日本無線（マリンシステム事業部 企画推進部 事業企画グループ 課長）宮寺 好男 氏から「演題：2019 年世界無線通信会議（WRC-19）等の結果」について、総務省（総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 課長補佐）吉田 丈夫 氏から「WRC-19 等の結果を踏まえた国内における今後の対応」について講演をいただきました。続いて、第 2 部「しまなみにおける ICT 活用について」として、愛媛大学大学院（理工学研究科 電子情報工学専攻通信システム工学 教授）都築 伸二 氏から「SCOPE「島しょ部住民と小型船舶のための瀬戸内海 IoT 減災プラットフォームに関する研究」について」、NTT データ（社会基盤ソリューション事業本部 デジタ



ICT 技術勉強会の模様

ルコミュニティ事業部 観光・防災推進担当 課長) 山口 智孝 氏から「減災コミュニケーションシステムによる減災×IoTインフラの実現」について講演をいただきました。

その後、講師の方々と意見交換等を行い、島しょ部地域におけるICT利活用方策について理解を深めるとともに、新たな課題解決方法等について考えました。

6. 映像制作研修会

【開催日】令和元年11月21日(木)、11月26日(火)、11月27日(水)

【開催地】高松市(香川大学教育学部附属高松小学校)

【参加者】児童30名及び教職員

コンテンツ部会では、映像コンテンツの利活用による地域の活性化と人材育成を目指して、映像制作研修会を企画されている方に、研修資料の提供や講師の派遣等の支援を行っています。

本研修会は、講師として株式会社火燧の安部 貴士 代表取締役を派遣し、学校から要望のあった「学び続ける力の育成」、「様々なひと・もの・ことに関わる力の育成」、「新しいものを創り出したり価値に気づいたりする創造することの育成」の視点を踏まえて、映像表現の方法、撮影の基礎知識や映像の編集方法等をご説明いただきました。



映像制作研修会の様子

研修後に児童からは、「出来事を分かりやすく表現する事を大切にしたい。」、「見る人が飽きない動画を作りたい。」、「心の中のリアクションを身体で表現したい。」などの意見が寄せられました。

7. プログラミング学習会

【開催日】令和元年10月18日(金)、11月27日(水)、12月4日(水)

【開催地】徳島市(徳島市立福島小学校)

【参加者】児童74名

コンテンツ部会では、IoT・ICT 社会で活躍できる情報活用能力を持った人材の育成を目指して、プログラミング学習会を開催しています。

本学習会は、講師として 株式会社 T I D E の矢田 和也 代表取締役を派遣し、プログラミングを行う際に必要となる考え方や思考のパターン、基礎技術等を説明し論理的思考力の醸成を図るとともに、

プログラミング的思考を課題解決へ結び付ける方法等をご説明いただきました。

児童は身近な課題をプログラミング教材で解決できるかを検討し、実際にプログラミングを行いました。プログラミングにより自らの課題を解決することができた成功体験と、他の児童が注目した課題とプログラミングによる課題解決を認識することにより、プログラミングの魅力と可能性を感じていました。



8. 「四国コンテンツ映像フェスタ 2019」

上映審査会・表彰式

【開催日】令和2年2月4日（火）

【開催地】高知市（高知城ホール）

【参加者】62名

令和2年2月4日に高知市において、「四国コンテンツ映像フェスタ 2019」の上映審査会と表彰式を開催しました。

最初の講演会では、高知県出身で高知県東部の自然や遺産などを中心に 4K 撮影した映像を使用し、企業 CM や地域プロモーション映像制作を手がけられている 株式会社東京映画社 の百々立夫 代表取締役社長から、「地域や地元の魅力は、地元の人が発信していくことが大事である。地域に根ざした映像を収集できるという『地元の特権』を活かし、地域の人が親身になって丁寧に作り上げた地域の魅力があふれる作品を全世界に投げかければ、地域活性化につながっていく。」とご講



演されました。

その後、「四国コンテンツ映像フェスタ 2019」のノミネート作品の上映審査会を実施し、最優秀賞3点、優秀賞5点、特別賞4点、審査員特別賞1点が選ばれ、表彰されました。